

甲賀市環境未来都市宣言について

1. 目的

世界的な気候変動がある中、日本は2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すカーボンニュートラル宣言をしており、各自治体においても宣言を行っている。

この世界的気運を受け、甲賀市では、本年6月に開催された全国植樹祭の盛り上がりを受け、宣言を行い、市民・事業所・行政が一体となったオール甲賀での取り組みを進める。

2. 宣言文の構成など（※宣言文は別紙）

- ①世界的な気候変動 ②世界と国の方向性 ③甲賀市の現状と挑戦
④市長と市議会議長との共同で宣言

3. 経過と予定

| 時期 | 会議・発信等 | 内容 |
|------------|----------------|---|
| 平成27年11月～ | COP21・パリ協定等 | 温室効果ガスの排出削減のための国際枠組み |
| 令和2年1月6日 | 滋賀県 | 「しがCO2 ネットゼロ」ムーブメント」キックオフ宣言 |
| 令和2年10月26日 | 内閣総理大臣 所信表明 | カーボンニュートラル宣言 (2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す) |
| 令和3年10月 | 閣議決定 | パリ協定に基づく長期の成長戦略 |
| 令和4年4月20日 | 甲賀市環境審議会 | 宣言内容の協議 |
| 令和4年4～6月 | 庁内、議会 | 宣言方法等の調整 |
| 令和4年6月5日 | 全国植樹祭 | |
| 令和4年7月13日 | 甲賀市環境審議会 | 宣言内容の協議 |
| ↓ | (各種調整) | |
| 令和4年8月頃 | 宣言 | 宣言 |

4. その他

- ・宣言文を木製版に印刷予定。
- ・幅広い方々へのメッセージとするため、宣言文にルビをふる。
- ・甲賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）を策定し、具体施策を進める。令和4年度に策定支援業務委託（素案作成、調査等）、令和5年度に計画策定。

(参考) 県内他市町等の宣言状況

- ・湖南市 令和2年8月 湖南市ゼロカーボンシティ宣言
- ・近江八幡市 令和3年7月 近江八幡市気候非常事態宣言
- ・草津市 令和3年12月 草津市気候非常事態宣言（議会との共同宣言）
- ・長浜市 令和4年3月 長浜市ゼロカーボンシティ宣言
- ・大津市 令和4年3月 大津市ゼロカーボンシティ宣言

全国宣言自治体数：749（令和4年6月末）



こうかしかんきょうみらいとしせんげん

甲賀市環境未来都市宣言

～ゼロカーボンシティへオール甲賀の挑戦～

近年、地球温暖化による異常気象により、世界中で深刻な自然災害が発生し、温室効果ガスの排出抑制が喫緊の課題になっています。

世界規模での気温上昇の中、我が国は2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルを目指しています。

鈴鹿山系を望む丘陵地にある甲賀市は、野洲川・杣川・大戸川沿いに文化が発展し、広大な森林は琵琶湖の水源涵養、水質保全にも重要な役割を果たしています。

また、日本遺産に認定された忍者や信楽焼をはじめ、お茶や薬など甲賀ならではの歴史や産業がこの豊かな自然と調和した、誰もが暮らしに“しあわせ”を感じられるまちです。

これまで、全国に先駆け、市民一人ひとりが生ごみ堆肥化事業などを通じて、身近なところから環境にやさしいまちづくりに取り組んできました。

今を生きる私たちは、この豊かな環境を守り・育て、未来の世代につなぐため、次の挑戦を行います。

【挑戦1】 自然エネルギーを軸としたエネルギーシフト

【挑戦2】 エネルギーと農林水産物の地産地消

【挑戦3】 豊かで健康な水源の森づくり

【挑戦4】 里山の保全と災害に強いまちづくり

豊かな自然を未来に引き継ぎ、環境と経済・社会活動が調和した持続可能なまちとするため、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティ・環境未来都市の実現を、市民・事業所・行政が一体となりオール甲賀で挑戦することをここに宣言します。

令和4年（2022年） 月 日

甲賀市長 _____

甲賀市議会議長 _____